

KANAGAWA HOHYUH CLUB

神奈川県放射線友の会

Newsletter



Vol.11No.Mar..2018  
第 42 号

神奈川県放射線友の会 (略称 神奈川放友会)

〒231-0033 横浜市中区長者町 4 丁目 9 番地 8 号

ストーク伊勢佐木 1 番館 501 号

TEL 045-681-7573 FAX 045-681-7578

発行人 長谷川 武

発行日 2018 年(平成 30 年) 3 月 15 日

## Newsletter の記事投稿にご協力を

理事 櫻田 晃

本会は、平成 27 年 4 月 18 日の総会で、正式呼称「神奈川県放射線友の会(略称 神奈川放友会)」としてリニューアルしました。そして、昨年 11 月 11 日には、めでたく創立 10 周年記念式典も終わりました。

この節目に、編集担当の立場から会員の皆さんへお願いがあります。それは、本会が年 4 回発行している Newsletter への投稿依頼です。

編集委員会は、会創立 4 年目の平成 23 年度に初めて組織されました。この委員会は、当初私と小嶋昌光理事の 2 名でスタートしましたが、平成 28 年度より担当三役として早瀬副会長が付き、同時に、新理事として仙臺真紀夫氏も加わる 4 名体制となり今日に至っています。幸い、これまでの間、会員の皆さんのご協力もあって、毎年度の活動方針通り年 4 回の発行の責めは果たしてきましたが、いつも原稿集めに苦しめられているというのが実態です。過去の投稿執筆者を見ていただければ分かりますが、同じ方の名を幾度も発見できます。ご協力いただいた会員の皆さんには、この場を借りて改めて感謝の意を表する次第です。

さて、10 年を経ても、このような実態を改善できていない現実に力不足と努力不足を痛感していますが、この節目にあたり、次年度以降の改善策について一案を提示させていただきたいと思っております。

その案とは、まず、第一段階として今号 Newsletter 発送に合わせて、会員全員に投稿依頼文書及び原稿見本を送付して記事の募集をかけさせていただきます。この場合の募集期間は、次号原稿締め切りまでとします。この募集で十分記事が集まらない場合は、第二段階として、投稿依頼者を当委員会から指名させていただき、投稿をお願いするという二段構えの方法です。ただし、この二段階目の方法の場合、色々な事情から投稿したくてもできない事情を抱えている方もいるかもしれません。該当する方は、第一段階での投稿依頼文書が届いた際にでも文末連絡先宛連絡をいただければ適切に対応しますのでよろしくお願い致します。お願いする記事は、4~5 ページに掲載するカラー 2 ページ分又は 6 ページに掲載するモノクロ 1 ページ分です。添付する原稿雛形を参考に、写真、図表等も自由

に掲載してください。編集委員会で調整させていただきます。

Newsletter は、会の機関紙として会と会員を繋ぐ大変重要なツールであり、総会監査では毎度の如くより一層の充実が求められています。会に対するご批判やご要望、趣味のことなどなど、ジャンルは問いません。「今こんなことをしています。」的な記事で結構です。この会は、常々発信している通り気軽に参加し気楽に集える“憩いの館”をモットーにしています。ぜひとも気楽にお寄せください。

会員の皆さんの参加でより一層充実しますので、皆さんのご理解と絶大なるご協力をお願い申し上げます。なお、原稿は手書きでも構いません。もちろん、パソコンでの作成は大歓迎です。もし、パソコンで原稿を作成する場合は、添付の原稿見本のとおりですが、以下の要領でお願い致します。

- ・タイトルは  
MSP ゴシックの 16 ポイントで作成
- ・氏名、会員番号は  
MSP ゴシックの 12 ポイントで作成
- ・本文は  
MS 明朝 10.5 ポイントで作成
- ・掲載画像等の説明文字は  
MSP ゴシックの 9 ポイントで作成
- ・文字数は  
一行 25 文字の 2 段組みで入力
- ・行数は  
52 行とし、うちタイトル分は 5 行確保
- ・ヘッダー、フッターへの入力は不要です。

※ 問合せ、投稿は下記にてお願い致します。

メール: kanagawahohyuh2009@jcom.zaq.ne.jp

電話及び FAX: 0467-85-1408

# 平成 30 年度 神奈川県放射線友の会 総会資料

来る、4月7日(土)開催予定の平成30年度総会開催にあたり、平成29年度に於ける会務結果報告及び平成30年度会務計画を報告して、総会資料といたします。

- [内容] I. 平成29年度事業及び会計報告総括  
 II. 平成29年度監査報告  
 III. 平成30年度事業計画及び会計計画(案)  
 IV. その他について

## I 平成29年度事業及び会計報告総括

平成29年度事業計画に基づく「会創立10周年」を迎えた活動が中心であった、一年を報告いたします。

「仲間の癒し企画」と「放射線に関する啓発活動」を基本に掲げながら、社会的に評価・信用される組織活動を目標に置きましたが、地域における講演活動は波に乗れず不調でした。

しかし、執行部の充実が図られたので会員の情報交換や放射線に関する啓発活動を中心に精進し頑張りました。その結果は、機関誌「神奈川県放射線友の会 Newsletter」の発行にその効果が出ております。また、記念誌「10年の歩み」の企画編集は、この間の本会の事業のすべてを簡潔明瞭にまとめ上げたもので、振り返ってみると「リタイアしたシニア組がよくぞ頑張った」という実績を伺え知ることができます。

事業計画「施設見学・小旅行・懇談会」に基づく活動は、「東京競馬観戦&参戦」と「放談会・懇談会」「創立10周年記念式典」の実行でした。

特別活動としては、「食と放射線」発行の三度目の挑戦でしたが、10周年記念事業としてまとめ上げました。

一方、予算処置の無い記念誌や出版物の発行は綱渡りでしたが、会員からのご寄付と篤志により何とか処理できると考えております。

シニア世代活動の多少無理な運営方法だったかと反省するところもありましたが、執行部の一致団結した取り組みにより、実績として残る10周年記念事業を全うできたと認識しております。

また、神奈川県放射線技師会執行部には多大な支援を賜っており、本会の活動の原動力にもなりました。

次に、新会員登録促進活動ですが、現在81名、個人賛助3名、団体賛助1社の登録があり、8名の会員増でした。入会促進については、自然増を望んでいますが、100名余の会員構成を目標としております。活動が評価されれば入会希望者は増加すると考えてきましたので、この会員増は10年間の活動が理解されつつある証ではないかと判断しています。

理事会は10周年の企画があったので、新役員の増も図りました。それにより、熱気が出て着実に活動が実行されました。

熱意と奉仕に支えられた活動結果を報告いたします。ご討議を宜しくお願い致します。

1. 会員数：77名 (他 賛助：個人3名 団体1社)  
(平成30年2月17日現在)

## 2. 会 議

- ・総会 1回 平成29年4月8日(土)
- ・理事会 6回 5/20 6/24 8/19 10/14 12/2 2/17
- ・臨時理事会 1回 4/8 ・会長・副会長会議 1回 5/10

## 3. 放談会の開催 2回

- ・4月8日 ワシントンホテル5F ドルフィン  
 テーマ：最近の医療情報について  
 講師：JRA 経済部会部会長 野口雄司
- ・11月11日 北京烤鴨店  
 テーマ：これからの放友会活動を考える  
 司会 早瀬 武雄

## 4. 創立10周年記念式典の開催

開催日 平成29年11月11日 参加者 25名  
 会 場 横浜中華街「北京烤鴨店」(ペキンカオヤーテン)

## 5. 事業活動

- ① 「神奈川県放射線友の会 Newsletter」の発行 年4回  
 第38号 Vol.10 No.2 2017.03.15 A4版8p 100部  
 第39号 Vol.10 No.3 2017.07.15 A4版8p 100部  
 第40号 Vol.10 No.4 2017.10.01 A4版8p 100部  
 第41号 Vol.11 No.1 2018.01.15 A4版8p 100部
- ② 恒例東京競馬観戦&参戦  
 平成29年5月14日(日) 参加者13名  
 メーンレース：ヴィクトリアマイルG1
- ③ 記念出版物の発行  
 ・神奈川県放射線友の会「10年の歩み」  
 A4版 48頁 100部  
 ・「食と放射線」放射性物質の汚染実態と風評被害  
 「副読本」 A4版 111頁 150部

## 6. 会計報告

平成29年度会計報告

		収入	予算額	決算額	増 減	
収入の部	会費		61,000	55,000	-6,000	
	雑収入(寄付金)		10,000	147,495	137,495	
	事業収益		10,000	180,310	170,310	
	前年度繰越金		24,481	24,481	0	
	収入合計		105,481	407,286	301,805	
支出の部	印刷費		20,000	14,636	5,364	
	発送費		25,000	21,069	3,931	
	活動運営費(会場費)		10,000	153,434	-143,434	
	事務用品費		10,000	7,082	2,918	
	会議室借用費		15,000	15,000	0	
	会議費		5,000	0	5,000	
	記念誌作成費		0	104,256	-104,256	
	予備費		20,481	24,800	-4,319	
	支出合計		105,481	340,277	-234,796	
			収入決算額	407,286	支出決算額	340,277
		次年度繰越金 67,009円				

## 7. 役員

会長	長谷川 武			
副会長	橋口 邦紘	早瀬 武雄	草柳 伸彦	
	小松崎眞一			
監事	中村 豊	橋 亨		
理事	村松 康久	櫻田 晃	小嶋 昌光	
	本田 義和	上前 忠幸	仙臺真紀夫	
相談役	萩原 明	柳生 博		

### ・各種委員会委員と担当理事

総務委員会	○橋口	村松	仙臺	
編集委員会	○早瀬	櫻田	小嶋	仙臺
企画委員会	○小松崎	本田	上前	橋口
渉外委員会	○草柳	早瀬	橋口	
ホームページ運営委員会	○小嶋	早瀬	小松崎	本田
NPO 法人検討委員会	○早瀬	長谷川	橋口	草柳
	小松崎	中村	橋	

## II 平成 29 年度 監査報告

監事 中村 豊 ㊟ 橋 亨 ㊟

神奈川県放射線友の会定款第 15 条により平成 30 年 2 月 17 日に監査を実施したので報告する。

### 1. 会計監査

創立 10 周年記念式典および祝賀会は会員の参加費で開催できましたが、神奈川県放射線友の会「10 年の歩み」の発行は会員の篤志の寄付金で賄っています。財政は大変厳しい状態ですので、従前の準備が必要です。

会の運営、活動は会費に負っていますので、さらなる会費徴収に努力してください。会計は正確かつ適正であることを認めます。

### 2. 会務監査

本会 10 周年を迎え、創立 10 周年記念式典の開催、神奈川県放射線友の会「10 年の歩み」の発行、「食と放射線」放射性物質の汚染実態と風評被害の発行など大変活発な事業活動でした。本会発足から 10 年間の会の運営、活動を担った会長はじめ役員への貢献に対し、真摯に感謝いたします。また、8 人の新入会員を迎えることができたことを評価します。

神奈川県放射線技師会と協力して、県民のための放射線診療や放射線の知識の啓発に活動するよう望みます。

## III 平成 30 年度 事業及び予算(案)

本会の創立は 2007 年(平成 19 年) 11 月 17 日でしたので、今年は次の 10 年に向けたスタートだと心得て励みます。頑張り過ぎず、焦らず、身の丈相当の企画を構築したいと思います。

## 1. 事業計画

10 周年が経過した新年度はあらためてこれまでの実績を振り返りながら、人生 100 年時代を念頭に置いた社会生活の中で、シニア世代としての経験と知識を考慮しながら、会の存続を再認識してもらえるように、「放射線に関連する啓発」と「神奈川放友会の仲間作り」に重点を置きます。

社会的に評価・信用される組織活動を目標にして、放射線に関する啓発のために、県内の何か所かで原発事故を受けての「食と放射線」に関連する講演会の開催を目指します。更に、本会の存在と活動の評価は「機関誌」であることを念頭に、「神奈川放友会 Newsletter」の掲載内容の充実を図り、会員と共に県民を意識した編集に心掛けて参ります。

活動の原動力は会員の組織力が第一ですので、神奈川県放友会の基本である「放談会」の活性化に努めます。

事業の中身と予算が問題ですが、10 年の経験を生かした運営で、皆様の協力・支援をお願いして参ります。

平成 30 年度の事業計画として、次の目標を置きました。

- ① 「神奈川放友会 Newsletter」の発行(4 回/年)
- ② 「放談会」の開催
- ③ 「原発事故による放射線関連の講演会」の開催
- ④ 県放射線技師会の支援による共同企画の推進
- ⑤ 神奈川放友会ホームページの更新努力
- ⑥ 施設見学・小旅行・懇談会・競馬観戦等の開催

## 2. 平成 30 年度予算(案)

平成 30 年度会計予算(案)

		収入	予算額	前年度予算額	増減
収入の部	会費		60,000	61,000	-1,000
	雑収入(寄付金)		10,000	10,000	0
	事業収入等		10,000	10,000	0
	前年度繰越金		67,009	24,481	42,528
	収入合計		147,009	105,481	41,528
		支出	予算額	前年度予算額	増減
支出の部	印刷費		25,000	20,000	5,000
	発送費		35,000	25,000	10,000
	活動運営費(会場費)		10,000	10,000	0
	事務用品費		10,000	10,000	0
	会議室借用費		15,000	15,000	0
	会議費		10,000	5,000	5,000
	予備費		42,009	20,481	21,528
	支出合計		147,009	105,481	41,528

## IV その他について

## NPO 法人プラチナ美容塾の活動で元気に！

松枝 由美（会員番号 73）

### はじめに

昨年、遅ればせながら神奈川県放射線友の会へ加入、10周年記念大会に参加させていただきました。懐かしい大先輩方がお元気にご活躍、とても楽しい時間を過ごさせていただきました。その場で「今、何をしているの？」と多くの方が尋ねてくださったので、私が現在所属し、まるで仕事のようなNPOの活動内容をご紹介します。

### NPO 法人プラチナ美容塾

NPO法人プラチナ美容塾は2013年に港区に発足した、まだ新しい団体で、美容を通じてシニアを元気に輝かせるコンセプトのもと、大手美容メーカーをリタイアした元敏腕営業部長が理事長、美容部長を副理事長、お客様担当が理事となって活動を開始。初めは高齢者施設で美容ボランティアを行っていました。その次に、まずは自分達がきれいになってその元気と笑顔を届けましょう！とセルフ美容クラスを開講。現在は、会員数も40名を超え、支えられる側ではなく、支える側を応援するNPOとして港区の社会福祉協議会とも協働し、8か所の高齢者施設・障害者施設を毎月1回訪問。様々な講座、例えばウォーキング・笑顔の作り方・薬膳や介護者のための疲れを取る講座等の開催や地域イベント活動に参加、多世代をも含めた地域社会の活性化に取り組む団体に成長しました。

私は父を2015年11月に見送り、そろそろ何かしなければとボランティアの場を探して、たまたま翌年2月の東京いきいきホームタウンプロジェクト、ボードマッチというNPO紹介のイベントに参加。理事長と出会って強く勧誘されました。活動を見学したら、その場の明るく楽しい雰囲気が素晴らしく、4月には入会。それからは医療とは全く違う世界で、初めてのことを次々と体験することになりました。

入会后すぐの6月に社会福祉協議会主催のフェアでファッションショーのモデル（いきなり代役になって、なんと花嫁！）、テキスト・DVD作成、営業資料作成、美容講座アシスタント（受講生から先生と呼ばれます！）ボランティア訪問先の責任者、地域イベントブース活動、女性のためのがんフォーラムではがんサバイバーのファッションショーなどなど・・・自宅に閉じこもってはいけません。絶対にできない体験や相手に喜ばれることが自分の元気に繋がります。

### 広報担当理事を拝命

会員になって1年も経てないのに理事になり、現在は情報発信担当の役を担っています。

理事の役目は様々で講座のアシスト、イベントの企画運営など実際の活動もたくさんあり、資料作成や議事録作成など事務作業も多く、今までの経験も役に立っています。さらに、今までとは異なる分野の多くの方と出会い、世界が広がりました。



ファッションショーモデル



男性ボランティア！



DVDラベル



DVD撮影風景



地域イベントでのショー



地域イベントブース



女性のがんフォーラム 左から3人目の方に注目!!



東京都女性活躍推進大賞 授賞式にて

## 「プロボノワーカー」とは

皆様は、「プロボノワーカー」をご存知ですか？たまたま私が情報発信担当でプラチナ美容塾側の窓口として関わりが強いのですが、自分の仕事上のスキル・特技をボランティアとして提供し、NPOなどの自力では不足している分野を支援してくれる人のことを言います。これまでにプロボノワーカーを組織するNPO法人サービスグラントに4回、お世話になりました。講座のチラシ作成や賛助企業を募る営業資料作成、テキストならびにDVD作成、そしてホームページ作成。その都度に依頼内容に必要なスキルを持つワーカーがチームを編成。営業資料作成では、依頼NPO側のニーズ調査、内部・外部のヒアリングに始まって、スケジュールに従って資料を作っていきます。段階ごとに打ち合わせ、ニーズに即しているか確認しながらの作業や実際の企業を訪問し、プレゼンテーションも。協力してくださった企業のご意見を入れ、やっと完成。

DVDでは映画のディレクターが絵コンテを作り、それによってカメラマンが撮影。機材も実際に使われているプロ仕様を持ち込んで、それぞれにプロ中のプロの仕事をして頂き、映画撮影体験、映画好きの私には最高に楽しい作業でした。HP作成も通常では製作コスト何十万円も掛かってしまうほどのきちんとした出来栄の成果物。それがボランティア（交通費のみの費用）でやっていただけるのです。費用も嬉しいですが、何よりも良かったのがプロボノワーカーとの繋がりです。現役バリバリの彼ら、忙しいのにも関わらずNPOを支援したい、社会の役に立ちたいとの気持ちで多くの時間を提供してくれます。打合せは当然ながら、平日の19時以降の仕事帰り。土日の場合もあります。若い人たちのボランティア心を頼もしく感じ、協働できて誇らしく思います。

最近では活動のターゲットをシニア女性だけでなく、男性、多世代に広げ、メンズ講座・就労者支援（リタリワークス）・夏休みボランティア体験会（小学生から大学生）などの活動も行っています。

その活動の広がりが公的に評価され、平成29年度東京都女性活躍推進大賞を地域分野で受賞しました。1月18日都庁にて、小池都知事より表彰。他の産業分野・教育分野・医療福祉分野の対象者は大きな組織ばかりでしたが、小さなNPO法人でも認められ、会員たちの励みになりました。

この様にどっぷりとプラチナ美容塾に浸った毎日ですが、明るく楽しく元気に過ごしております。

元気になるためのボランティア、一緒にしませんか！  
男性のボランティアも喜ばれますよ！

プラチナ美容塾の活動内容、情報はHPに掲載されていますので、是非お立ち寄りください。そしてお力をお貸しください、お待ちしております。

詳細は **プラチナ美容塾** で検索

**表彰**

**「東京都女性活躍推進大賞」(29年度)受賞者が決まりました!**

東京で働く、自分らしく。

東京都では、女性の活躍推進に取り組む企業や団体、個人を表彰しています。

<b>大賞</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>産業分野/三井住友海上火災保険㈱ 全社員の総活躍を支援する取り組みを総合的に評価。</li> <li>医療・福祉分野/社会福祉法人 竹講会 女性社長を中心に女性役員が働きやすい環境づくりを推進。</li> <li>教育分野/東京女子医科大学 女性医師・研究者のキャリア形成を継続できる環境を構築、全国の女性医療人を対象にした複数支援。</li> <li>地域分野/NPO法人 プラチナ美容塾 業務を請け、アクティブに働くプラチナ世代(いつまでも元気に、人生を楽しむシニア世代)を支援。</li> <li>前川綾子(存心ろまんのかのジャントWa-sho!イベントナレーション)は、お盆(仮)</li> </ul>
<b>個人</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>多様な人をつなぎ、新たな地元ネットワークを生み出す地域コーディネーター。</li> </ul>

**優秀賞** 5団体および1人      **特別賞** 1団体

●各受賞者の取り組み内容の詳細はホームページをご覧ください。  
●都庁44フレッドを通じて大賞受賞者の取り組みを紹介。  
【東京サイト】2月12日(月)～16日(金)【テレビ朝日】14時～14時4分

お問い合わせ 生涯文化局男女平等推進課 03-5386-3189



【報告】

## 茅ヶ崎市民に「食と放射線」第2・3版を寄贈 茅ヶ崎市役所で副市長・環境部長に面会

### ＜茅ヶ崎市長に3度目の訪問＞

神奈川県放射線友の会の長谷川会長、早瀬副会長、上前理事の三人が、2017年（平成29年）12月21日（木）茅ヶ崎市役所市長室を訪問して、「食と放射線」第2版・第3版を贈呈しました。

当日は、服部市長に面会予約を取っておりましたが、あいにく所用の為不在でしたので、夜光副市長、野崎環境部長に対応していただきました。

長谷川会長より神奈川県放射線友の会の活動について紹介をさせて頂き、早瀬副会長からは茅ヶ崎市内での放射線量測定についての詳細を説明しました。

2011年（平成23年）10月24日に神奈川県放射線技師会、神奈川県内地域放射線技師会連絡協議会、湘南放射線技師会と一緒に測定した「茅ヶ崎市内の公園を中心とした大気中の放射線量の測定結果」を服部市長に報告していたこと、また、この資料が茅ヶ崎市のホームページからリンクされ市民の皆さんに見て頂いている事、更に現在でもYAHOO ホームページで「茅ヶ崎市内の公園を中心とした大気中の放射線量の測定結果」が掲載されていることを報告しました。

更に、「食と放射線」の副読本の出版には、茅ヶ崎市民病院仙賀裕院長のご指導とご支援を受けていることを付け加えました。

夜行副市長と野崎環境部長には熱心に話を聞いて頂き、夜光副市長からは2011年（平成23年）10月24日及び2012年（平成24年）10月17日に「食と放射線」の贈呈を受けたことに対しお礼の言葉と共に、市民に公開されている旨報告を受けました。

また、市民への「放射線に関する啓発活動」を今後も継続するよう会として要請を受けましたので、市民講演会などの活動を示唆して支援をお願いしました。

### ＜茅ヶ崎市の汚染状況を解説＞

今回の「食と放射線」第2版、第3版を贈呈するにあたり、別途資料「福島第一原子力発電所事故での大気汚染の観測結果等の資料」を添えての説明をさせて頂き、茅ヶ崎市が福島第一原子力発電所事故直後には大気汚染の影響があったのですが、雨が降らなかったのも一時的な大気汚染で済んだことを具体的に説明しました。

早瀬副会長から、「神奈川県放射線技師会が2007年（平成19年）から2011年（平成23年）の原発事故前の県内各地域で、大気中の放射線量測定値と事故後2011年（平成23年）3月～9月までの測定値」を比較した表を添え、具体的な解説を行い聞いて頂きました。

副市長・環境部長は原発事故前の環境データに理解を示され、敬意を称して頂きました。

更に、神奈川県放射線友の会は「放射線についての安全・安心への取り組み、そして放射性物質の汚染実態の説明と風評被害の現状と撲滅」について、地道な活動を行っていることについて説明を加えております。

副市長・環境部長は多忙の中を30分程の時間を対応して頂きました。

最後に、市側から神奈川県放射線友の会に対しお礼が述べられると共に、継続しての活動に激励の言葉を頂きました。



長谷川・早瀬・上前が「放射線に関する啓発活動」を説明



市長面会室で副市長と環境部長に面会



左側より、上前・早瀬・長谷川・夜光副市長・野崎環境部長

## 神奈川放友会活動の再認識

政府による「原発事故後の福島県復興支援策」について、2018年1月14日の読売新聞「社説」で論じられていました。神奈川放友会の活動と同じ方向を向いている事を知ることが出来ます。社説全文を紹介します。

### 魅力と正しい知識を伝えよう「福島風評対策」

原子力発電所の事故があった福島県の復興を加速するためには、政府一体となった積極的な取り組みが欠かせない。

復興庁が、福島復興に関する「風評払拭・リスクコミュニケーション強化戦略」をまとめた。関係省庁が、福島の現状や魅力などを国内外に発信していく際の基本方針となる。

これまでは、関係省庁が個別の問題に対症療法的に対処してきた。被災地支援を統括すべき復興庁が、風評対策で十分に機能してきたとは言い難い。同じ戦略の下、省庁が連携することで、実のある成果を上げてもらいたい。

戦略が柱として掲げたのは、「知ってもらう」「食べてもらう」「来てもらう」の3点だ。

偏見や差別が今なお残る現状を踏まえている。科学的データに基づき、現状を正確に捉え直してもらうことが大切である。

「知ってもらう」では、放射線への正しい理解を広める。

「身の回りには日常的に放射線が存在する」「福島第一原発事故とチェルノブイリ原発事故は異なる」「放射線はうつらない」といった客観的な事実をテレビやインターネットなどで伝える。

福島第一原発の周辺を除き、放射線量は、他県とほぼ同水準にまで低下したことも説明する。

見過ごせないのは、避難した児童生徒へのいじめだ。

戦略では、全国の小中高生向けの放射線副読本を改訂する。教師や教育委員会職員に対する研修も増やす。子どもを守るためには、まずは教師が、放射線の影響や特性を正しく知ることが肝要だ。

「食べてもらう」では、福島産の農水産物の安全性をアピールする。厳格な検査を経て出荷している現状を紹介する。

事故から7年近くが経過したにもかかわらず、品質に見合った値段がつかない。2016年産の桃は、全国平均価格より1キロ・グラム当たり115円安かった。首都圏に比較的近い立地条件などから、事故前には人気の産品だった。

韓国などは、現在も福島産の輸入を制限している。政府として粘り強く撤廃を働きかけたい。

「来てもらう」も重要だ。依然として、観光への影響が残る。訪日外国人の急増で、全国の観光業が活気づく中、福島への観光客数は事故前の約9割だ。

戦略では、好印象を持たれる画像のネット配信などに力を入れる。多くの人が福島を実際に訪れて、肌で感じる。それが、最も効果的な風評対策だと言えよう。

## みんなの広場

### ■ 東京電力福島第一原子力発電所の見学と富岡町を訪ねる！

2月17日(土)の定例理事会で、東京電力福島第一原子力発電所見学と富岡町を訪ねる！企画が検討されていることが報告された。

原発事故後対策の現状視察と富岡町を訪ね、放射線対策情報と町内散策による住民の現状を視察するのが目的である。1泊2日で12人程度のツアーが検討されているが、対象は社会情勢上放友会会員のみです。

企画が纏まりましたので8ページを参照ください。

### ■ 公益社団法人 神奈川放射線技師会 創立70周年記念大会 開催される！

昭和22年(1947年)8月12日の創立から70周年が経過し、2月4日(日)第17回神奈川放射線学術大会と記念式典(ワークピア横浜)、祝賀会(ホテルニューグランド)が開催されました。

会長はじめ実行委員長の熱意が伝わり、新時代の神奈川放射線技師会が期待できる素晴らしい大会でした。

### ■ 原子力規制委員会委員長 放射線量基準引き上げ提言

原子力規制委員会の更田豊志委員長は、17日の定例会合で、東京電力福島第一原子力発電所事故の影響で除染作業を行う目安となる1時間当たりの空間放射線量基準値「0.23  $\mu\text{Sv}$ ・シーベルト」を引き上げる必要があるとの認識を示した。基準を上回る地域でも、除染の対象となる年間被ばく線量1  $\text{mSv}$ ・シーベルトを超えないと考えられるため、除染作業を担当する環境省と近く協議し、適正な基準値について議論を進める方針だ。

環境省は、1時間当たりの空間線量が0.23  $\mu\text{Sv}$ ・シーベルトを超える地域を「汚染状況重点調査地域」に指定し自治体が除染を行っている。

この基準値は、年間被ばく線量で1  $\text{mSv}$ ・シーベルト以下に抑えることを目標に、住民が屋内外で活動する一般的な時間などから算出していた。

ところが更田委員長によると、原発事故後の調査や研究で、1時間当たり0.23  $\mu\text{Sv}$ ・シーベルトの空間放射線量の地域で1年間生活したとしても、被ばく線量は1  $\text{mSv}$ ・シーベルトを大きく下回るとする結果が報告されているという。更田委員長は「改めるべきは改めないと、住民の帰還や復興を阻害する」と述べた。

**会 告**



**平成 30 年度 神奈川県放射線友の会総会のお知らせ**

平成 30 年度神奈川県放射線友の会総会を下記の通り開催することを告示する。

神奈川県放射線友の会 会長 長谷川 武

開催日 平成 30 年 4 月 7 日 (土) 12:00 ~ 12:30

開催場所 桜木町ワシントンホテル 5 階 「BAYSAIDE ドルフィンの部屋」  
(JR 桜木町駅東口 駅前 ☎ 045-683-3166)

総 会 議 事

- 1 開会のことば
- 2 会長挨拶
- 3 議 題

- 第 1 号議案 平成 29 年度事業及び会計報告
- 第 2 号議案 平成 29 年度 監査報告
- 第 3 号議案 平成 30 年度事業計画及び予算案
- 第 4 号議案 その他

- 4 閉会のことば



**\* 出席欠席に関わらず、同封のはがき(書面評決)を記載し 3 月 31 日までに返信ください。**

**平成 30 年度 神奈川県放射線友の会「放談会」のお知らせ**

特別講演 『福島第一原子力発電所 廃炉作業の取組み』 講師 東京電力

放談会テーマ 『よくぞ続いた「放友会」これからを語る!』  
**バイキング料理を堪能しながら歓談いたしましょう。**

開催日 平成 30 年 4 月 7 日(土) (総会終了後、同一会場)

開催時間 12:30 ~ 14:30 会食費 5,000 円

**今回は、会員のみ参加可です。**

参加申し込み先 Tel 045-783-9454 橋口 まで

**東京電力福島第一原子力発電所の見学と富岡町を訪ねる!**

日時 7 月 11 日(水)・12 日(木) 集合 上野駅 17 番線 7:45 8:00 発 特急ひたち 3 号乗車

費用 交通費、宿泊費等 約 25,000 円

**参加資格は会員のみ**

宿泊 富岡ホテル (0240-22-1180)

内容 福島第一原子力発電所バス車内より 1~4 号機外観確認、海側設備 等

募集人員 12 名 定員になり次第募集締切

申込先 Tel 0467-85-1408 早瀬 まで

**平成 30 年度 事業案内 「恒例の東京競馬場観戦&参戦」**

内容 G1 ヴィクトリアマイルに挑戦

日時 5 月 13 日(日) 8 時 30 分 JR 府中本町駅 (競馬場専用通路前)集合

参加費 2,500 円

※申込締め切りは 4 月 30 日です。詳細については Tel 045-783-9454 橋口 まで

**編 集 後 記**

今回の 42 号は総会特集号として編集しました。

放友会設立は 2007 年(平成 19 年)11 月 17 日で、今年は 11 年目を迎えています。

Newsletter の編集も定着してきましたが、会員の皆さまからの投稿をもっともっと掲載しなければならないと思っています。投稿をよろしくお願ひいたします。

編集担当 櫻田 晃 小嶋 昌光 仙臺 真紀夫